

スマイル・通信

笑顔あふれる須磨のまち

兵庫県議会議員

伊藤 すぐる



第364回 兵庫県議会(本会議) 一般質問

令和5年10月号

令和5年9月26日(火)



質問1 終戦80年を迎える我々の役割について

(1) 戦没者遺族への遺骨返還事業について

答弁内容: 県からは、全市町の戦没者等遺族相談員に対して遺族へのきめ細やかな情報提供を働きかけ 県遺族会へは、会報や会議等で各会員への情報提供を行うよう依頼する。遺族の高齢化が進んでいることから、今後、県では遺族会と連携し、県広報紙での広報の拡充やマスコミへのパブリシティの強化により、DNA鑑定事業等の一層の周知に努める。市町にもホームページや広報紙への掲載のほか、遺族が窓口で特別弔慰金等の給付金の手続きで来所する機会を捉え、個別に周知いただくよう強く働きかける。



(2) 島守の広場での慰霊祭開催について

答弁内容: 島田叡氏の生誕の地に整備された「島守の広場」での「須磨島守の会」による慰霊祭の開催は、平和への思いを県民と分かち合う意義深いものである。今後は、県ホームページや広報紙等の広報媒体を活用し積極的に発信したい。さらには、県遺族会青年部や須磨島守の会と連携し、島守の広場において地域の子ども達を対象に戦争の教訓を継承するための語り部活動など、本広場を活用した取組も検討している。

質問2 児童養護施設退所児童等への新たな支援について

(1) 発達障害等のある児童等への支援について

答弁内容: 今年度から県では、施設職員を対象にひょうご発達障害者支援センタークローバーと連携の上、児童への対応力向上研修を実施する。この研修で、発達に特性のある児童に対する個々の特性に寄り添った処遇や療育を図っていく。また、施設職員がこの研修で得た知識と技能を実践し、発達に特性のある児童に対する認知機能向上トレーニングも進めていく。このトレーニングで児童の認知機能を向上させ、生活環境への適応力や自己肯定感を高めるとともに、児童が日常生活で落ち着くことで、日々支援を行う施設職員の負担軽減にも繋げていく。さらなる児童への支援の質の向上と職員の負担軽減を図っていくため、市町と連携し、放課後等デイサービスや児童発達支援など、地域の障害福祉サービスのさらなる活用も進めていく。

(2) 就業・住居に対する支援について

答弁内容: 職親の皆さまのご尽力を称えるとともに更なる協力企業を増やすため、協力いただいた企業の支援活動を県ホームページやSNS、メールマガジンなどの広報媒体を通じて、幅広く発信していく。さらに、入退所児童を就労支援に円滑につなげるため、協力企業の業務や求人等の情報を整理したリーフレットを作成し、入退所児童や施設職員等に提供する。出所者等の就労等の支援を行われているコレワーク近畿への聞き取り調査を行い、ケアリーバー支援の有識者会議で新たな支援策を検討していく。これらにより、児童らが幅広い選択肢から職業を選び、安心できる生活環境で夢を実現できるよう公民一体での支援を強化していく。

(3) 就学支援について

答弁内容：児童が小さい頃から自身の将来を見据えたライフプランを考えるとすることも重要ですので、施設職員が児童と将来の夢や希望を語り合っていて、それぞれの児童の目標を設定して、それを反映した個々の長期的な支援計画を作成するというすることも、施設長などに働きかけていきたいと考えております。幼少期からの習い事などの様々な体験は、豊かな人間性の形成や社会への興味・関心の向上や協調性の育成など効果が期待できるため、低年齢児の学習・習い事への支援のあり方について、有識者会議によるケアリーバーの支援のあり方検討委員会の中でも検討を進めていく。

質 問3 「躍動する兵庫」実現のため、求められる職員像について

答弁内容：県民本位で仕事をしていくということが大事。基本姿勢を職員に実践徹底し、県民本位の意識を浸透させていく。複雑化・多様化する政策課題に部局の垣根を越えて、職員一人ひとりが参画していくということが非常に大事。指摘を真摯に反映させながら、すべての職員に求められる職員像の浸透を図り、新しい時代に向けた兵庫作りに挑んでいく。

決算特別委員会委員任命

9月定例会開催中の9/28～10/18に渡り、令和4年度兵庫県歳入歳出決算に対し、財政状況、危機管理、福祉、公安、企業庁に関する質疑を行いました。



実現！兵庫県再犯防止推進計画策定

令和3年12月定例会代表質問で登壇し、提案した兵庫県再犯防止推進計画の策定が実現し、令和5年7月4日に無事施行されました。思い起こせば平成23年4月、兵庫県議会議員に初当選し初めて登壇した一般質問から始まった長い道のり。県議会では、担当窓口を決めることからスタートし、再犯防止関係機関連絡会議の立ち上げ、更生保護関係者への手引きの作成、刑務所出所者等への支援、違法薬物防止条例策定等を実現しました。国に対しても数々の要望を行い、再犯防止計画の見直し、矯正施設等での障がい特性に応じた処遇、コレワークの増設、法務省と兵庫県がコラボした様々な取組等を実現して参りました。システムの構築は今回の計画策定で完了と致します。12年間で構築したシステムを国、県行政、関係者が活用し成果を出すのが次のステップであると考えております。これからは、私自身もいち保護司として再犯防止推進事業、更生保護事業に邁進し、県民の安心、安全を守るため尽くしていきたいと考えております。同計画は、多くの関係者の皆さまの努力で法務省関係者の方々より高い評価を受けております。計画策定にご尽力頂いた皆さま、パブリックコメントにご協力頂いた県民の皆さまに心より感謝申し上げます。

都市部での獣害・猿出没注意！！

10月2日、早朝に我が家のエアコン室外機の上に座る人影が！！人影ではなく「猿影」でした。その時は、あまりの衝撃に写真を撮ることができませんでした。翌日、リビングの窓、直ぐそばに猿が！かなりの大柄！いかつい顔！目が合った瞬間には恐怖心を感じました。日本猿に噛まれて大怪我をした人もいます。はぐれ猿は危険であるとも聞きます。県獣害担当者の話しでは神戸市内に猿の群れは確認されておらず、単独行動をしている個体であるとのことで、「はぐれ猿」で危険であるとのことです。直ぐに県に伝えました。神戸市より注意喚起のお知らせが近隣区のホームページであったようです。垂水区でも後日、同猿が出没したとのことです。獣害は、農村部での農作物の被害ばかりが取り上げられますが、都市部でも色んな被害が出ております。皆さま、くれぐれもお気をつけ下さい。



ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

伊藤すぐる事務所

〒654-0076 神戸市須磨区一ノ谷町2-8-6 TEL.078-736-2858

兵庫県議会議員控室

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3723 FAX 078-351-0772

Eメール hyogokengikai.ito.suguru@gmail.com

兵庫県議会ホームページにて
議会の録画映像が観られます。

